

イーレックスが第三者割当による新株式の発行を発表—格付への下方圧力を緩和

以下は、イーレックス株式会社（証券コード：9517）の24/3期業績、25/3期業績予想および第三者割当増資等を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- 24年5月10日、当社は24/3期業績、25/3期業績予想および第三者割当増資等を発表した。24/3期業績は経常損益183億円の赤字（24/3期第3四半期決算発表時の予想値198億円の赤字）、親会社株主に帰属する当期純損益222億円の赤字（同220億円の赤字）となり、JCRの格付レビュー時（24年2月）の想定から特段の乖離はなかった。
- 第三者割当増資（調達予定額118億円）の割当先は、当社グループが推進する海外事業と親和性が高い事業を手掛け、また、将来的に事業上の取り組みにおいて相互に補完し合える可能性を持つ取引先である。資金使途は当社の海外事業の成長に向けた投資資金等および有利子負債の圧縮に充当される計画。本件を通じ、24/3期に毀損した自己資本は一定程度回復し、財務構成の改善に寄与する見通しで、格付への下方圧力を緩和するものと考えられる。
- 25/3期は事業推進体制の見直し、戦略の変更、当社販売量を上回る調達余剰分の前期逆ザヤの解消などにより、税引前利益（IFRS）43億円を予想している。黒字転換するものの、23/3期以前の水準と比較するとやや低位にとどまるとJCRではみている。今後は、国内小売事業の利益の改善度合いとその安定性、海外事業投資による財務構成への影響などを見定め、格付に反映させていく。

（担当）殿村 成信・小野 正志

【参考】

発行体：イーレックス株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：ネガティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル